

対象プログラム/科目	
名称	海外日本語講座
実施期間	2015年 9月 ~ 2016年 6月

利用の目的	
● プログラムの全体像を把握する。	● プログラムの現状を記録する。
● 問題を特定する。	過去のプログラムを振り返る。
プログラムについて説明する。	新しいプログラムを作る
その他()	

記入後に見せたい人	
● 内部者(具体的に: 職員、講師全員))
● 外部者(具体的に: 日本側本部機関))
● その他(具体的に: 時期赴任者))
(自分のみ)	

社会的背景
(促進要素・制約・条件など)
(どのような社会的ニーズがありますか。)

使命
(あなたの組織・言語教育プログラムの使命(ミッション)は何ですか。)

目標
(言語教育活動の目標は何ですか。)

実績
(これまでにどのような実績がありますか。)

【構成要素】

【カリキュラム・シラバス等(基本計画)】

【活動】

ヒト(関係者)

◎ 教育・支援スタッフ

◎ 運営スタッフ

◎ 学習者

◎ その他: 上記以外でプログラムの運営に際し考慮すべき立場の関係者・関係組織 (例えば、学校経営者、組織長、行政の担当者、予算配分者など)

情報(知識・経験なども含む)の共有

	共有範囲: 次の種類の情報をどのような人たちと共有していますか。	共有方法: 次の種類の情報をどのような方法で共有していますか。
学習者に関する情報		
カリキュラム・成績に関する情報		
教育・活動方法に関する情報		
設備・施設等に関する情報		
プログラム評価(方法・結果等)に関する情報		
関係者・組織に関する情報		
予算に関する情報		
その他の情報		

モノ(施設・設備)

学習者用: どのような施設(ラウンジ、LL、図書館、自習室など)設備(コンピュータ、給湯、教科書/教材、など)がありますか。

教師・学習支援者用: どのような施設(教員室、教材用図書室、など)設備(コンピュータ、給湯、教科書/教材、など)がありますか。

カネ(予算・資金)

十分な予算・資金が確保されていますか。(十分でない場合は、何のための予算が必要ですか。)

外部の関連団体・プログラム

種類・関係: どのような団体やプログラムなどがありますか。それぞれどのように関連していますか。

コース/カテゴリ

どのようなコース(科目)、活動の単位となるカテゴリがありますか。

レベル

各コースやカテゴリは、どんな日本語レベルを想定していますか。

サイズ(人数)

各コースで想定する参加学習者は何人ぐらいですか。

期間

各コースはどのくらいの期間実施されますか。

授業(活動)の①単位時間と②頻度

各コースでは、①どのくらい長さの授業(活動)を、②どのくらいの頻度で行いますか。

内容
(技能・ジャンル・活動、など)

各コースでは、どのような内容を目的として授業(活動)を行いますか。

その他
(特記事項)

各コースについて、上記の他に何か特記する事項がありますか。

計画・準備

【シラバス・カリキュラム等(基本計画)】を実施する前に、どのような準備・計画を行っていますか。

実施

【カリキュラム・シラバス等(基本計画)】の実施

モニター

【シラバス・カリキュラム等(基本計画)】が計画通りに行われているかを、どのようにチェックしていますか。

評価・振り返り

どのような評価・振り返りのためにどのような活動を行っていますか。

フィードバック・見直し・改善

評価・振り返りの結果、どのような改善を行いますか。

対象プログラム/科目

名称	海外日本語講座
----	---------

社会的背景
(促進要素・制約・条件など)

(どのような社会的ニーズがありますか。)
 ビジネスパーソンや日本に興味のある成人・学生が多い。
 日本語学習について、仕事で活かしたい、旅行をしたい、興味のある日本文化事象についてインターネットでより詳しく知りたいなどのニーズがある。

使命

目標

実績

<p>(あなたの組織・言語教育プログラムの使命(ミッション)は何ですか。)</p> <p>日本語学習を通じた日本理解者の拡大 グローバル人材の育成 日本語学習を通じた現地と日本との交流</p>	<p>(言語教育活動の目標は何ですか。)</p> <p>仕事、旅行などでの実際のコミュニケーションの力を高める。 日本語学習を通じて、日本文化への理解を深め、自身の文化について振り返る</p>	<p>(これまでにどのような実績がありますか。)</p> <p>2013年より「入門A1」からスタートし、現在は「入門A1」「初級1 A2」「初級2A2」「初中級A2/B1」までのコースを開講している。 これまでの受講者は200名を越える。</p>
---	--	--



対象プログラム/科目

名称	海外日本語講座
----	---------

【構成要素】

ヒト(関係者)

◎教育・支援スタッフ

<p>種類・役割: どのような教員/支援担当者(コーディネーターなど)がいますか。それぞれの役割分担はどうなっていますか。</p> <p>1 常勤講師・コーディネーター(1名): 開講コースの設定、カリキュラムの作成、講師の調整、授業の実施、プレースメントテスト、修了テストの実施統括、事務職員との連絡、講師の育成、会議統括</p> <p>2 ノンネイティブ常勤教員(1名): カリキュラム作成補佐、授業の実施、プレテ・修了テストの実施、事務職員との連絡、客員講師の育成、会議統括</p> <p>3 客員講師(2名): 授業の実施、テストの実施、会議出席</p>
--

<p>活動の指針となる考え・方法: どのようなことをスタッフで共有していますか。</p> <p>外部での実際の日本語使用場面につなげることの重視→カリキュラム作成会議などでアイデアを出し合う 学習者のドロップアウトを少なくする→学習者の様子、出席状況を口頭、LINEで共有</p>

◎運営スタッフ

<p>種類・役割: どのような運営担当者(事務担当など)がいますか。それぞれの役割分担はどうなっていますか。</p> <p>統括責任者(1名): 広報、学生募集、教務一般の統括。日本本部との連絡 事務部門(1名): 教務、広報、学生募集の実務</p>
--

<p>運営スタッフのニーズ: プログラムや学習者に対しどのようなことを期待していますか。</p> <p>設備などの制限ないで、できるだけ多くの学生を受け入れ、修了率を高める</p>

◎学習者

<p>種類・特徴: どのような学習者(正規生、聴講生、受講者など)がいますか。それぞれのプロフィール(背景・特性等の特徴)はどのようなものですか。</p> <p>1 日本との関わりのある・ない企業の社員 2 日本への旅行に行きたい人 3 趣味、インターネットで日本のサイトを見た</p>
--

<p>学習者のニーズ: プログラムや日本語学習等に対してどのようなニーズがありますか。</p> <p>1 仕事で使う(同僚、上司、出張者の日本人とのやりとり、簡単なビジネスメール、自身の日本出張でのやりとり、など) 2 日本への旅行で使う(買い物、道聞き、トラブル対処、交流、など) 3 興味のある分野(アニメ・まんが、ゲーム、J-POP、伝統文化など)についてのネットでの情報収集、同じ趣味を持つ人とのやりとり</p>

◎その他: 上記以外でプログラムの運営に際し考慮すべき立場の関係者・関係組織

(例えば、学校経営者、組織長、行政の担当者、予算配分者など)

<p>種類・関わり方: どのような立場の人や機関がありますか。それぞれどのように関わっていますか。</p> <p>日本側本部機関</p>

<p>各関係者のニーズ: プログラムに対しどのようなニーズがありますか。</p> <p>日本語学習を通じた日本理解者の拡大→学習者数の拡大 自社教材の広報</p>
--

情報(知識・経験なども含む)の共有

	共有範囲: 次の種類の情報をどのような人たちと共有していますか。	共有方法: 次の種類の情報をどのような方法で共有していますか。
学習者に関する情報	全講師、事務職員	授業報告、事務文書、教材、テスト、コース報告書、SNSでの連絡、口頭連絡、会議
カリキュラム・成績に関する情報	全講師、事務職員	授業報告、事務文書、会議
教育・活動方法に関する情報	全講師、事務職員	授業報告、事務文書、コース報告書、SNSでの連絡、会議
設備・施設等に関する情報	事務職員、(常勤講師)	口頭連絡、事務文書、会議
プログラム評価(方法・結果等)に関する情報	常勤講師、事務職員	事務文書、コース報告書、会議
関係者・組織に関する情報	常勤講師、事務職員	事務文書(リスト、組織図など)
予算に関する情報	事務職員、(常勤講師)	事務文書(会計、経理、事業計画・報告など)、会議
その他の情報	事務職員、(常勤講師)	日本側本部との連絡(メール、郵便など)

モノ(施設・設備)

<p>学習者用: どのような施設(ラウンジ、LL、図書館、自習室など)設備(コンピュータ、給湯、教科書/教材、など)がありますか。</p> <p>ラウンジ、図書室</p>	<p>教師・学習支援者用: どのような施設(教員室、教材用図書室、など)設備(コンピュータ、給湯、教科書/教材、など)がありますか。</p> <p>講師事務室、参考図書棚(教材・参考図書)、PC、給湯設備</p>
--	---

カネ(予算・資金)

<p>十分な予算・資金が確保されていますか。(十分でない場合は、何のための予算が必要ですか。)</p> <p>受講料収入を高くすることができないため、日本側からの補助金を得ている。講座拡充のためには、教室確保や講師確保の予算が必要。</p>

外部の関連団体・プログラム

<p>種類・関係: どのような団体やプログラムなどがありますか。それぞれどのように関連していますか。</p>

対象プログラム/科目

名称	海外日本語講座
----	---------

【カリキュラム・シラバス等(基本計画)】

【活動】

